

別子山公民館 令和7年8月号

ふるさと別子☆夏まつい

7月17日（木）別子中学校の生徒さんたちが復活させた夏まつりが開催されました。

昨年は、計画段階から体育館実施と決めて行われ、夕方から小雨が降りましたが、今年は朝から雨で、お昼ごろには滝のような非常に激しい雨が降りました。夜にかけても断続的に雨が降りましたが、気温的には暑くもなく丁度良い肌感覚でした。でも、夏まつりは雨の日ばかりですねえ!!

さて、お祭りは復活後4回目の開催と言う事もあり、生徒さんの様々な思考を凝らしたお祭りとなっており、地域の一大イベントとして定着しているようです。

これまでと同様に、生徒さんが思考を凝らした交流用の色々なブースが設けられ、地域の皆さんや卒業生の皆さんも積極的に参加され、お祭りの雰囲気盛り上げていました。

中でも、キッズスペースでは“射的”や“輪投げ”“ヨウヨウ釣り”さらに“もぐらたたき”“スタンプラリー”と子供から大人まで、童心に帰り大声を上げ楽しんでいました。気持ちは幼児!? さらに、「生放送! 別子ラジオ」では、地域の方4名が順番に登壇し、中学生のキャスターがそれぞれの方にインタビューを行い、その内容を配信しながら進んでいきました。私も4番目の登壇で、キャスターを務めた“こゆさん”と楽しい会話が出来ました。ありがとう!!

お茶席では、ラムネやジュースが提供されましたが、なんと言っても今回初めて「ジーロさんのジェラート」販売が行われ、踊りの合間にこそって買い求められ、早い段階ですべて完売となりました。ありがとうございました!!

まつりのメインは、古くから歌い踊られてきた「牛若踊りとトンカカ踊り」民謡踊りです。

生徒さんの踊り方指導のもと、センスを手に持ち華麗に踊りの始まりです。

この民謡踊り「牛若踊り」は、愛媛県による調査で、歌詞・リズム・踊りの手ぶりなどから鎌倉時代のものであるとされており、口伝の民謡と踊りで、落人が京都を忘れないように踊ったとも言われております。「ハ・五調」の古風な調べで、明るい旋律に特徴があります。また、トンカカ踊りは、別子山村開村当時のものを三百年前土佐の長曾我部一族の落武者が移り住み中興したと伝えられ、仮装に編み笠を深くかぶり老若男女の区別判定を定かにせず、到着順に踊る輪に入り、踊る手振りは勇壮でさむらい踊りとも言われたものです。

様々な歴史背景を持つ「まつり踊り」ですが、文化的意味を尊重しつつ、中学生の思いが色濃く練り込まれ、地域の交流のイベントとして気軽に参加し、楽しい時間を過ごす事に繋がっています。

今回も企画運営を担ってくれた生徒の皆さんの頑張りが、参加の皆さんの笑顔に繋がりました。

別子山の賑わいを作り出していただき、本当にありがとうございました。

また、来年も趣向を凝らした大会運営で、参加の皆さんの笑顔を期待いたします。



・・・令和7年度 別子校区まちづくりタウンミーティング開催・・・

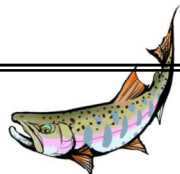
7月11日（金）19:00～新居浜市古川市長をお迎えし、令和7年度まちづくりタウンミーティングが開催されました。

まず、市長より市の重点事業の説明が行われ、子育て支援対策、南海トラフ地震の被害想定、住居の地震対策、防災士の養成、南消防庁舎の移築、罹災証明について、自分の命は自分で守る自助共助の大切さ、人材確保の取組、住友関連企業との連携、観光資源の魅力発信など様々な項目について解説いただきました。

さらに、校区課題では、インターネット環境の整備について、大規模災害発生時における食糧等の備蓄対応について、貯水槽タンクの網取替について、大湯地区山腹崩壊について、ハートネットワークTVの視聴について

以上の校区課題についてご回答いただきました。





別子山魚つかみ大会開催

7月27日（日）別子小中学校と別子山地域が連携し地域の自然に親しむ心を養う事を目的に、魚つかみ大会が実施されました。

参加されたのは、別子小中学校児童生徒やそれぞれの保護者の方々と、かまど作りから火おこしまで、家族やグループに分かれ行われました。

魚つかみ大会の起源は、はっきりとわかるものはありませんが、古くは学校の年間行事に組み込まれてPTAが主催で始まったと聞いております。その当時から何十年も続いた伝統のある大会であることは言うまでもありません。

今年も、魚をつかむ、子供達の歓声が響き渡る楽しい大会となりました。

詳しい実施内容は次号9月号の公民館報でご報告申し上げます。

参加ご協力をいただきました皆さん、本当にありがとうございました。

主婦のひとりごと

皆さん、こんにちは、別子山公民館の小山でございます。夏至も過ぎ、気が付けば夏本番、最近春を感じられないくらいに感性が鈍っているのか、それとも季節の変わり目において体調管理に気をとられ春を感じる余裕がないのか、はたまた私には、もう春は来ないのか等と考える今日この頃ですが皆様は如何お過ごしでしょうか、私は瀬戸内海で一番漂着ゴミが多いと言われていた伊方町三木の辺鄙な場所にある御所ヶ浜という浜辺で三年間にわたりゴミ拾いボランティアを続けています。その漂着ゴミの量は膨大で、近代の人間社会が築いた産業構造の問題が積みあがりミルフィーユになったような状態であり、焼け石に水とわかりながらも手作業でゴミ拾いを月一で続けていたのですが、今月そんな状況にある御所ヶ浜で奇跡が起きました。なんと、この辺鄙なところにある小さな浜辺に日本最大級の社会貢献団体が主催となり、フェリー型船舶(300t 越え)がタグボートを引連れて浜辺に数台の重機を陸揚げしてビーチクリーンを実施したのです。

主催者によると今回のビーチクリーンは世界最大規模で、この日本で大掛かりなビーチクリーンのモデルケースを作ることでした。社会問題とは今の社会では解決できない問題をさすといわれていますので、今回の出来事は日本社会が良い方向に変化し、それが現象として現れたと考えていいのかな（おわり）。

なかよしのおこ



本当に毎日暑いですねえ!?

皆さんいかがお過ごしでしょうか?

先日の魚つかみ大会では、朝の冷たい川の流れが、お昼を過ぎ片付けの時間帯になりますと体感温度が急上昇、丁度いい湯温に! 水温に代わっていました。

今年もそうなのですが、短い梅雨明けと同時にきつい日差しが照り付けて、昼間日差しの下では身体が溶けて行きそうです。毎日のように熱中症警戒アラートが発令されています。

こまめな水分補給、皆さんも忘れない様に!

さて、もうすぐお盆期間に入りますが、お盆はご先祖様の魂をお迎えする期間ですから、お墓掃除は早めに済ませて、お迎えできる体制を整えたいと思います。

これから本格的に夏真っ盛りを迎え、危険な暑さも予想されます。身体には十分注意をしてお過ごしください。

…おもい…

- ・「今、自分がここにあるということ。それは、先祖代々の皆さまによって私は生かされているということです」
- ・「自分を大切に出来なければ、人を大切にすることはできません」

・・・秋季大運動会予定日程等のお知らせ・・・



・予定日程：令和7年9月7日（日）

・予定時間：9：00～11：30

・予定場所：別子小中学校グラウンド

令和7年度別子山秋季大運動会が上記のとおり開催されます。

運動会開催は、これまでと同様に学校児童生徒さんと地域住民が交流を図る大切な時間でもあり、開催自体に大きな意義がございますので、地域の皆様のご参加ご協力を頂きます様宜しくお願いいたします。

移動図書館『青い鳥号』運行のお知らせ

移動図書館「青い鳥号」が、別子山地区にやってきます。

みなさん是非ご利用ください。

8月は、21日（木）に巡回します。

別子小中学校 13：00～14：00

※本を借りる場合は、「図書館カード」が必要です。

※1人10冊まで借りる事ができます。

その他分からないことは、図書館員におたずねください。



新居浜市立別子銅山記念図書館

TEL 0897-32-1911

『…台風災害から身を守るために…万全に!!』

台風災害から身を守るためには、事前の備えと避難行動が重要です。早めの情報収集、避難経路や避難場所の確認、非常用持ち出し袋の準備、そして避難指示が出たら速やかに避難することが大切です。

1. 事前の備え

- ・情報収集 気象庁や自治体からの台風情報を常に確認し、台風の進路や勢力、予想される被害などを把握しましょう。
- ・ハザードマップの確認 自治体が作成しているハザードマップで、自宅周辺の浸水リスクや土砂災害の危険箇所を確認し、避難経路や避難場所を事前に把握しておきましょう。
- ・非常用持ち出し袋の準備 飲料水、食料、救急用品、貴重品、懐中電灯、ラジオ、携帯電話の充電器など、最低3日分の非常用持ち出し袋を準備しておきましょう。
- ・家屋の対策 窓や雨戸をしっかりと閉め、必要に応じて補強しましょう。側溝や排水溝を掃除し、風で飛ばされそうなものは固定するか、家の中にしまいましょう。
- ・避難場所の確認 避難場所までの経路や、避難場所の状況を事前に確認しておきましょう。

2. 避難行動

- ・避難指示に従う 自治体からの避難指示が出たら、速やかに指定された避難場所へ避難しましょう。
- ・避難経路の確認 避難経路が浸水や土砂崩れなどで通行不能になる可能性もあるため、複数の避難経路を事前に確認しておきましょう。
- ・安全な服装 動きやすい服装で、靴もスニーカーなど歩きやすいものを選びましょう。
- ・持ち物の最小化 貴重品や必要最低限の物を持ち、両手が使えるようリュックサック等に入れると良いでしょう。
- ・避難時の注意 浸水した場所や土砂崩れの危険がある場所は避けて、安全な場所に避難しましょう。

